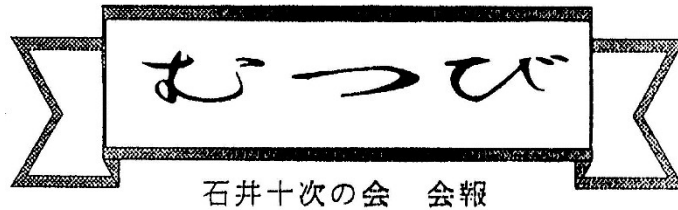


2022年
(令和4年)
1月1日



292号

年頭のあいさつ

石井十次の会 会長 橋田 和実

会員の皆様そして関係各位の皆様

令和4年あけましておめでとうございます。

コロナ禍も今年で3年目を迎えることとなりました。初めは1年くらいで終息するであろうといわれていましたが、変異株の出現によってまだまだ続きそうです。これからはコロナと共生していかなければならない世の中となることが考えられます。

私事で恐縮ですが、昨年に行われた宮崎県西都市長選挙に当選し、再び西都市長としての重責を担うこととなりました。そこで、石井十次の会会長の役職を辞退させていただこうと考えておりましたが、その後行われた役員会（総会はコロナ禍のため中止）において、続投が決定されました。今後も引き続き会長職をさせていただきますので、皆様のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、2017年8月に厚生労働省より「新しい社会的養育ビジョン」が出されて4年が過ぎました。いわゆる欧米型の児童福祉を模倣して、これまで石井十次の精神を受け継いできた現行の日本型児童養護施設を縮小し、入所停止や入所制限を行い、里親制度の推進を行うというも

のです。現代社会のように虐待や育児放棄を受けて精神的孤児となった子ども達を養育するには里親制度だけでは無理がありますし、施設において半年や1年という短期間で養育しても、精神的に失われたものが癒やされ、更正されることは難しいと考えます。やはり、石井十次が唱えたように大自然の中で農作業を取り入れた集団的養育によって数年間かけて改善されていくものであると思います。国もぜひ、石井記念友愛社の各施設を視察調査していただき、どのような方策が有効かを見極めて「新しい社会的養育ビジョン」を再考してもらいたいものです。私たちはこれまで、そのための署名活動を全国規模で行ってまいりました。昨年12月によりやく、児嶋理事長ほか4名の共同代表者の皆様とともに厚生労働大臣に署名簿と要望書を提出することができました。

子どもの貧困や虐待が大きく取り上げられている今日、いかに子ども達を育て、良き人材として世の中に送り出していくことが重要であるかは論を俟たないと思います。私たち、石井十次の会といたしましても児童養護教育が日本社会で的確に行われるように活動していかなければなりません。どうか、会員の皆様のご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今冬も寒さが厳しいようです。コロナ禍に負けず、元気で過ごされますことをご祈念申し上げます。

石井十次資料館の自主ガイド研修会に参加して

去る令和3年11月25日の編集委員会終了後、約1時間、第2回の資料館研修会を開催しました。

資料館は十次の数々の教えを今に伝えるために先人たちが精魂傾けてレイアウトした貴重な資料の宝庫。

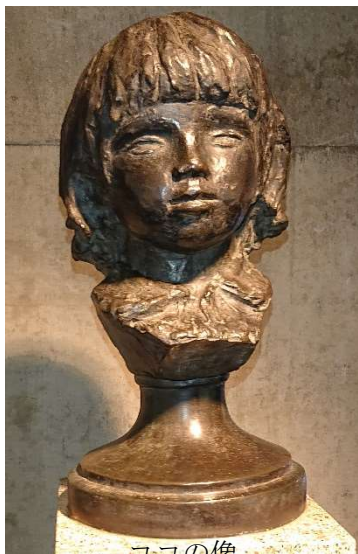
もちろん自主的・自発的な研修会として5人全員参加。講師は、編集委員仲間の石川正樹氏(兼監事)です。

石川氏は資料「石井十次資料館への提言(よりよい説明のために)(案)」を準備。

石川氏のお話に沿って、ゆっくりと資料館を見学しました。以下は報告と雑感です。私の個人的発見は、玄関入口近くに展示の小さな可愛い絵でした。「まりこ」とサイン入り作品です。石川氏に質問すると、「宮城まり子さんの作品だということです」本当に驚きました。女優で、肢体不自由児のための養護施設「ねむの木学園」を設立。第13回(平成16年)石井十次賞を受賞。石井十次をとっても尊敬されていたというあの宮城まり子さんの可愛い作品からは、子どもたちへの愛と優しさが伝わってきます。



石井十次資料館



ココの像

次は「ココの像」

ルノワール作「ココの像」は正真正銘の本物の作品です。印象派画家として有名なルノワールの胸像は珍しい。

昭和32年大原孫三郎氏の子息大原総一郎氏により寄贈。(高鍋町立美術館が1999年11月3日文化の日に開館した時、当日は「プチ・パリ展」と「石井十次展」も開催され、石井記念友愛社所蔵でルノワール作のブロンズ像「ココの像」も協力出品されました。)

あの人気者の「ココの像」にも像の存在由来についての説明文がほしいものです。

第1室、第2室、第3室いずれの部屋にも大変貴重な書簡資料が展示されています。もつともつ時間をかけて資料を読み解く努めが必要だと痛感しました。

ふと、私は日本彫刻界の巨匠「朝倉文夫」の記念館が、彼の故郷大分県大野市にあることを思い出し、週末(11/27～11/28)見学に出掛けました。資料館の展示に何かよい学びが得られるかもしれないと思ったからです。(つづく)

(編集委員 徳地 順子)

《 お し ら せ 》

●宮崎支部活動報告

★新会員のご紹介（敬称略）

【高原町】今西 由美子

【延岡市】福田 安孝

【都城市】松浦 敬子

★ご寄付をいただきました（敬称略）

（一般）

【都農町】安藤 久美子

【福岡市】田中 キヌ子

（奨学金基金へ）

【鳥取県】堀江 健太郎

★11/21～12/15の資料館来館者

団体・グループ 38人

【延岡市民児協】

【宮崎市大塚地区民児協】

個人 39人

計 77人

ここまでの掲載者は編集委員会開催の都合により12月15日までのものとしています。

★2月号の通信発送作業

2月 9日（水） 9時から

10日（木） 9時から

11月13日（土）午前中、こひつじ保育園にて毎年恒例の「エストレーラ・ウインド・アンサンブル」の皆様をお招きして、演奏会を開催しました。

5人のメンバーが、クラリネット・サクソ・バスクラリネット・ホルン・ユーフォニアムの楽器で、アニメ「アンパンマン」「鬼滅の刃」や童謡「どんぐりころころ」「ぞうさん」等の曲を演奏。園児たちは、曲に合わせてロズさんたり、手拍子をして楽しそうでした。また、それぞれの楽器の音のなる仕組みを説明して頂き、興味深そうに話を聞いていました。

コロナ禍ということで園庭で行いましたが、お天気に恵まれ暖かく、園児や先生方と一緒に楽しい時間を過ごすことが出来ました。



演奏会の様子

※編集後記

「むつび」巻頭の1～2頁は橋田和実会長から年頭のあいさつをいただきました。

新しい年が皆様にとりまして、幸多き年となりますように心よりお祈り申し上げます。

文責 松下さおり

**通信の発送作業のお手伝いをして
いただけるボランティアの方を募集
しております。簡単な作業です。
興味のある方は下記までお問い合わせ
ください。**

この会報は、宮崎県を中心に全国1700余の個人・団体に毎月送付しています。

社会福祉法人 石井記念友愛社

〒884-0102 宮崎県児湯郡木城町大字椎木 644-1

後援会「石井十次の会」

TEL/FAX 0983-32-4612 メール yuuaisya-jyuujinokai@ki.jo.jp